

平成27年

目黒区教育委員会

第16回定例会会議録

(平成27年4月28日開催)

第16回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成27年4月28日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会委員長	木村 肇
	教育委員会委員長職務代理者	小村 恵子
	教育委員会委員	笹尾 敦夫
	教育委員会委員	中山 ひとみ
	教育委員会教育長	尾崎 富雄

出席職員	教育次長	関根 義孝
	教育政策課長（学校統合推進課長兼務）	
		山野井 司
	学校施設計画課長	照井 美奈子
	教育指導課長	佐伯 英徳
	教職員・教育活動課長	濱下 正樹
	めぐろ学校サポートセンター長	増田 武
	統括指導主事	細田 真司
	統括指導主事	和田 孝
	生涯学習課長	金元 伸太郎
	八雲中央図書館長	大迫 忠義

書記		鈴木 敏由起
		山東 隆博

(午前9時30分開会)

- 委員長 第16回目黒区教育委員会定例会を開会します。
本日の欠席職員は学校運営課長です。署名委員は笹尾委員です。
それでは、日程第1を議題とします。
この案件は、人事案件ですので、目黒区教育委員会会議規則第13条第1項ただし書きの規定に基づき、秘密会で審議することを発議します。
それでは、同条第2項の規定に基づき、討論を行うことなしに直ちに可否を諮ります。秘密会とすることに賛成の委員の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

- 委員長 それでは、日程第1については、秘密会で審議することといたします。この報告の関係者以外は退席をお願いいたします。

(関係者以外退席)

(午前9時31分、秘密会入る)

(午前9時43分、秘密会終わる)

- 委員長 ここからは会議を公開とします。退席した関係者もお入りください。

(関係者入場)

- 委員長 そろいましたようですので、次に日程第2を議題とします。

(日程第2 議案第29号 教育財産(旧目黒区立ふどう幼稚園)の用途廃止について)

- 説明員 (資料により説明)

- 委員長 前回協議したものが議案として上がってきたわけですが、この議案に何かご意見、ご質問ございませんでしょうか。よ

ろしいでしょうか。

特にないようですので採決を行います。

本件に賛成の委員は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

○委員長 全員賛成ですので、議案第29号は原案どおり可決します。
続きまして、日程第3を議題とします。

(日程第3 平成26年度めぐろ歴史資料館及び古民家の事業実績について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○委員長 ありがとうございます。この報告について、何かご意見、ご質問、ないでしょうか。

○委員 めぐろ歴史資料館の利用者数が、開館日数で割ると1日平均、25人ぐらいということになっていて、減ってはいないんですが、30人台に上げたいというのが個人的な意見です。古民家は40人ほどです。いろいろ努力されていると思いますが、30人は欲しいと思います。

春の企画展の「めぐろ歴史資料館のお宝！紹介」が一番少なかった感じがするのですが、いろいろテーマを決めるのは難しいなと思います。

○委員 他の委員からもご指摘がありましたけれども、せっかくこれだけいい企画展を開催しているにもかかわらず、来館者数についてはここ何年か同じ7,000人台の前半を推移しているわけですが、冬に企画展については小学生の分が増えていきますから、1月だけ利用者が1,000人を超えているということで、実人員からするとちょっと割り引いてみないといけないのかなと思います。魅力ある企画展でも増えてないわけですから、やはりPR不足だと思います。

何か具体的なPRを打って出る方法とありますか、充実を図っていく必要があると思います。このめぐろ歴史資料館というものの存在価値、せっかくのこれだけ貴重な財産ですから、それは区民にしっかりと還元していく、PRをすべきだと思いますけれども、いかがでしょうか。

○説明員 今、ご指摘いただいたとおり、企画展については、いろいろ検討して準備しておりますが、なかなか来館者数が伸びていない状況でございます。

委員ご指摘のとおり、PR不足というのは確かですので、今後とも区報、ホームページでのPR、また、ホームページも内容の記載についても工夫をして、より多くの方に、行きたいなと思っていただけるような身近なテーマなどを中心とした話題にするといった切り口で工夫を進めたいと思っております。

それから、文化財係との連携も今後考えておりまして、例えば、文化財係で行っております、文化財めぐりなどの企画に多くの区民の皆様が参加していただいているところですが、その方たちにこの「つどい」を配布するのですとか、あるいは今度こういう企画展がありますというチラシを配布するとか、そういったことも工夫したいと考えております。

いずれにしても、来館者数を増加しない限りは確かに存在意義を問われるという状況でございますので、今後も工夫を重ねてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○委員 今のPRの方法なんですけれども、例えば区報とかホームページというのは今までもずっとやってきているわけですよね。だから、その内容を充実させることは確かに大事なことです。それによる増加分というのはある程度把握できると思います。ですから、新たな市場、というところとちょっと誤解があるので、新たに来てくれる人を開拓するためには、興味を持つ人のところへ直接こういう企画がありますよ、ということ売り込みという変ですが、そういうことをしないと難しいと思います。

例えば、小学校3年生は、社会科見学で行くとしても、例えば高学年が興味を持ちそうな企画展だったら、学校全体というのはなかなか難しいかもしれませんが、色々な課外活動的なところで行けるようなプランをつくるとか、あるいは中学とか高校とか、社会科の先生にもPRをして、何か部活動等でも来れるようにするとか、高校や大学もあると思います。

興味を持ってくれる先生などへ直接案内状を出すとか、まずこういうものがありますということを知っていただいて、それでぜひ生徒に来ていただけるようなことを考えてみるべきだと思います。

○説明員 委員ご指摘のとおりでございます。小学校に関しては、社会科見学ということで多くの小学生にいらしていただいているので学校とのつながりも一定程度築けていると思っておりますが、中学校以上についてはご指摘のとおり、なかなか結びつきが弱い状況でございます。企画展の内容によりましてはかなり興味を持ってもらえるようなことも多くございますので、そこは戦略的に考えて周知に努めてまいりたいと考えております。

それから、もう1点、桜修館中等教育学校を会場に、めぐろシティカレッジという生涯学習講座を実施しております。その中で、目黒の歴史と文化に親しんでもらうような「目黒学」という講座を開催しておりますので、そういったところでの周知も含めて考えてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○委員長 ほかにございますでしょうか。

ないようですので、この報告を受けました。

これで日程は終了しましたが、ほかに何かございませんでしょうか。

○説明員 前回、本委員会の、青少年委員の補充の報告の中で、委員からのご質問で、青少年委員が1人ないしは2人とも欠員という状況の住区がありますが、支障を来しているのかとの質問をいただきました。

1人のみの住区の青少年委員には普段から会っているため、どういう状況ですかということをお尋ねしてお困り感はよくわかりましたが、2人ともいない住区が具体的にどういった支障が出ているのかについて、担当を通して確認いたしましたので補足をさせていただきます。

2人とも不在の場合、青少年委員が活動の中で得た知識や経験を住区住民会議へ直接伝えることが難しいといった支障がございます。例えば、青少年委員の活動で視察研修という事業がございまして、住区のバスハイクなどに利用できるような施設の実地踏査を行っているところですが、青少年委員がいない住区では、じかに体験施設を確認することはできない状況でございます。

こうした情報は、住区青少年部を兼任している青少年委員を通じまして住区の青少年部の連絡会でお伝えはしていますが、やはり実際に見た方と、見ていない話だけという方では住区内での検討に差が出るという状況がございます。

それから、小・中のPTA連合会との意見交換会も行っておりますが、やはり不在だと、ここで話された内容について住区に還元するということにはできないという状況でございます。このように非常勤公務員である青少年委員の地域、学校、家庭と行政とのパイプ役という役割を住区に十分還元できないという支障がございます。

前回、不十分な答弁で失礼いたしました。お詫びとともに補足をさせていただきます。

以上でございます。

○委員長 その件に関してはよろしいでしょうか。

○委員長 ほかにございませんでしょうか。

ないようですので、本日の定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

(午前10時1分閉会)